

令和8年度紀美野町立下神野小学校スクールプラン

【紀美野町学校教育方針】

- 1 豊かな心を育て、たくましく鍛える
- 2 自ら学び・考えようとする態度を身に付けさせる
- 3 郷里の自然・文化・人々とのふれあいを深めさせる
- 4 社会の形成者として個性を発揮できる力を育てる

【保護者・地域の願い】

- ・ 確かな学力をつけた子になってほしい
- ・ 自分も人も大切にできる子どもになってほしい
- ・ 命を大切に、心身共に健康な子になってほしい
- ・ ふるさとを愛し、誇りを持つ子になってほしい

【学校教育目標】

ともに学び、よりよく生きる
～「自立と共生」の力を育む～

【目指す児童像】

- (1) 自ら課題を見つけ主体的に学ぶ子
- (2) 仲間と関わり、学びを深める子
- (3) 自他の良さを認め合える子
- (4) 思いやりのある言動ができる子
- (5) 心も体も健康でたくましい子
- (6) 明るい挨拶のできる子
- (7) みんなのために働く子

【前年度学校評価】

- ・ 子どもは楽しそうに学校に通っている
- ・ 子どもは友達によさに気付き、互いに認め合い、やさしさ、思いやりの心が育っている
- ・ 人権や生命を大切にする心や、社会のルールを守る態度を教育している
- ・ 授業参観や懇談など保護者と交流する機会を十分設けている
- ・ 子ども一人一人が大切にされ、認められている

【児童の実態】

- ・ 素直で明るい
- ・ 学校行事や委員会活動などに積極的に取り組むことができる
- ・ 他者とコミュニケーションをとることが苦手な子どもがいる
- ・ 家庭での読書習慣や自分の物の管理など基本的な生活習慣に課題がある

確かな学力の向上

重点目標

- ◎表現力を高める授業の充実
- ◎読書活動の推進
- 自己解決力の育成
- 基礎学力向上と家庭学習定着

具体的な取組

- 職員全体で授業スタイルを統一し、校内研究授業実践等を行う
- 「和歌山の授業づくり基礎基本3か条」の実践と自己評価の実践
- 定期的な聞く書くことへの課題への取組と読書タイムの推進

指標

- ・ 県学習到達度調査で各学年・各教科で県平均を上回る
- ・ 保護者アンケートで①「授業を工夫している」90%以上②読書習慣がついている」40%以上

豊かな心の育成

- ◎人権教育・道徳教育の充実
- ◎自己肯定感・自己有効感の高揚
- 特別支援教育の理解と充実
- いじめ防止対策の徹底

- Q-Uの結果を活かし、互いの良さを認めあえる集団作りを行う
- 児童が主体となる学校行事・係活動・委員会活動の実施
- インクルーシブ教育の視点を持った学級経営・授業実践

- ・ Q-U アンケートの実施と校内研修会の実施（年2回）
- ・ Q-U アンケートで学級生活不満足群の割合で全国平均以下
- ・ 保護者アンケートでの評価95%以上

健やかな体の育成

- ◎基本的生活習慣の育成
- ◎体育的行事と体育授業の充実
- 体力向上活動の推進
- 食育指導・健康指導の充実

- 基本的生活習慣を身につけさせる指導の充実
- 新体力テスト調査の活用
- 外遊びの励行と体育授業での運動量の確保
- 食育に関する体験学習の充実

- ・ 食育に関する取り組み全学年実施
- ・ 毎朝、朝ごはんを食べる児童100%
- ・ 体力テストでD判定以下の割合30%以下

地域に開かれた学校

- ◎育友会・地域との連携
- ◎地域人材による出前授業
- 校区のこども園・中学校との連携
- 学校行事等の情報発信

- 町内のこども園小中学校とともにコミュニティスクールの活用
- 地域人材による茶道教室やJAによる農産物体験学習実施
- 学校便り等を通しての情報発信と公開授業実施

- ・ 地域と合同の防災訓練実施（年1回）
- ・ 地域人材による出前授業実施（年3回以上）
- ・ 保護者アンケートでの評価90%以上

◎…特に重点的に取り組むこと

「教職員の業務量管理・健康確保措置」と「児童と向き合う時間や学びの充実に向けての教材準備や研修時間の確保」を行う

- ◎児童の完全下校時刻の徹底（月・火・木15時55分 水14時40分 金15時35分）
- ◎共有データ活用による資料作成時間の短縮
- ◎ICT支援員による学校ホームページ管理
- ◎ノー残業デーの設定
- ◎夏休みの登校日廃止